

# 透析医療の自主機能評価指標について

## I.施設の状況

1.施設の設備	
①施設の種別	病院
②病床数	464床
③透析ベッド数	50台

2.施設の機能	
①準夜透析の可否	不可
②オーバーナイト透析の可否	不可
③在宅血液透析の可否	不可
④オンラインHDFの可否	可
⑤シャント手術の可否	可
⑥PTAの可否	可
⑦下肢末梢動脈疾患指導管理加算の有無	ある

3.医療スタッフの状況		
①透析に関わる医師数	常勤:4人	非常勤:1人
②透析医学会会員の医師数	4人	
③透析専門医の人数	2人	
④透析技術認定士の人数	10人	
⑤透析に関わる看護師数	11人	
⑥腎不全看護認定看護師の人数	0人	
⑦慢性腎臓病療養指導看護師の人数	0人	
⑧透析に関わる臨床工学技士数	20人	
⑨血液浄化専門臨床工学技士の人数	0人	
⑩認定血液浄化臨床工学技士の人数	0人	

## II.患者の状況

①外来HD患者数	118人
②外来PD患者数	0人
③外来透析患者に対する後期高齢患者の比率	39%

## III.治療指標

①腎性貧血管理(Hb10g/dL以上の比率)	79%
②P管理(P6.0mg/dL以下の比率)	77%
③PTH管理(iPTH 240 pg/mL以下の比率)	83%
④透析時間(4時間以上の患者の比率)	99%
⑤透析時間(5時間以上の患者の比率)	3%
⑥透析時間(6時間以上の患者の比率)	0%
⑦透析量(Kt/V 1.2以上の比率)	97%